

<b>学校教育目標</b>	「ともに生きる子 ー信頼と安心と笑顔の学校ー」			
	学校のあいことば「かながえよう! かかわろう! かがやこう!」 (知)よさを発揮し粘り強く取り組む子 (公)上白根のまちに生き ともに歩む子 (徳)自分も友達も大切にす子 (開)ともに学び合い高め合う子 (体)心と体を健やかに育む子			
<b>学校概要</b>	創立 47 周年	学校長 山崎 由美	副校長 伴野 均	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 498 人		主な関係校: 旭北中学校 白根小学校	

<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>	<b>中ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<自分で考え 判断し 行動する力> <人と豊かに関わり つながる力>	旭北中学校 白根小学校	自分の気持ちや考えを上手に表現するとともに人の話に耳を傾けてコミュニケーションができ、さらに高い自尊感情をもって自他ともに大切に目標に向かって努力できる子ども ・合同授業研究会を通じた授業改善、授業力の向上。 ・合同研修会を通し、児童・生徒の「観」の共有。 ・教職員間の交流、相互理解。

<b>中期取組目標</b>	○子ども一人ひとりが自分の考えをもち 自分自身のよさを発揮し、まちとともに歩む学校にします。 ・子どもたちが互いに関わりあいながら学ぶ授業づくりを推進し、学力を向上させます。 ・自分で考える機会を意図的に作り、挑戦する気持ちを大切に によりよい学校生活が送れるようにします。 ・まちとのつながりを大切に、まちを愛し、まちから必要とされる関係を構築します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①引き継ぎや学習状況調査の結果や児童の実態をもとに、授業計画を立てる。②朝学習で学年ごとに重点をおく学習について、計画的に取り組む。③児童が表現する場面を意図的に設定する。④学年内で授業づくりや評価について共通理解をもち、カリキュラムマネジメントをしながら、児童の学力向上を目指す。
担当 学力向上	
<b>豊かな心</b>	①人権教育年間計画を見直し、見直しをもった人権学習の指導や、教科や日常の指導でもコミュニケーションをとる場の設定を行い、自尊感情を育てる意識をもつ。②計画的に児童の行動や変容を見取り、児童にフィードバックすることで、考えの広がりや気づき自己肯定感を高められるようにする。
担当 なかよし・人権・福祉	
<b>健やかな体</b>	①身に付けたい力を明確にした授業づくりが行えるように、職員研修や情報の発信・共有に取り組む。②年間を通じた活動としてなわとび活動を位置づける。③保健領域では歯磨きを軸に、自分の生活習慣をふり返る機会を設け、養護教諭や学校保健委員会と連携を図り、家庭への協力を呼び掛ける。
担当 体育	
<b>特別支援教育</b>	①児童指導年間計画を見直し、研修を通して職員の特別支援教育に対する知識や意識をより高める。②個別級と学年との連携を進め、個別級への理解をさらに深める取り組みを行う。③どの子も安心して過ごせる教室環境づくり、授業づくりをする。
担当 児童指導・特別支援	
<b>交流活動</b>	①7月に顔合わせを行い、「なかよしデー」「なかよし掃除」や学習での異学年交流を通して、全校遠足までに相手意識をもたせた関わりを積み重ねていく。②運営資料の情報を精選し、自ら考えて行動したり、班で創意工夫を生かしたりしながら活動できる機会を増やす。
担当 なかよし・人権・福祉	
<b>地域連携 学校運営協議会</b>	①様々な制限がかかることを念頭に置きながら、地域の良さを感じられる活動を年間指導計画の中に積極的に位置づけ児童がまちとのつながりを実感できるようにする。②学校運営協議会での話し合いの内容を広く周知させ保護者・地域と連携した学校運営を積極的に行う。
担当 教務	
<b>特別活動</b>	①学級会で使用するツールの配付などを継続し、話合いの経験を積み重ねる。②代表委員会での議題を各委員会と関連付ける。③年度初めに各学年の話合い活動における目標を周知し、年間を通して意識して指導することで、児童の考えを交流する力を、段階的に伸ばせるようにする。
担当 特活	
<b>いじめへの対応</b>	①傾聴訓練や事例研修などの研修を行い、いじめの未然防止のための手立てを身に付け、いじめを早期に発見する感度をさらに上げていく。②子どもや保護者の心に寄り添いながら、心のケアができるように、カウンセラーを講師に招いての研修も行う。
担当 児童指導・特別支援	
<b>人材育成・ 組織運営 (働き方改革)</b>	①分掌の年間計画を活用できるようにして、見直しを持った運営と振り返りで組織を活性化させる。②学年や分掌で必ず情報共有をし、一人ひとりが自分事として意見をもち業務に臨めるようにする。③データの共有が習慣化できるように定期的にデータの入力を確認する。
担当 学校運営計画	